

経営と開発をつなげ、プロジェクトを成功に導く

protoTypeper

サービス概要資料



Ce Link Good Things

プロトタイプとは

「施策モデル」の意味で自動車や化粧品など身近にある工業製品の開発段階で作られています。

プロトタイプをプロジェクトメンバー、経営陣・システムの運用者全体が見ることで、イメージをすり合わせられ開発がスムーズに進みます。

また、システムが出来上がってからのレビューの際に「もっとこうしてほしい」と各所から要望があがることも回避できます。



なぜプロトタイプを作るのか？

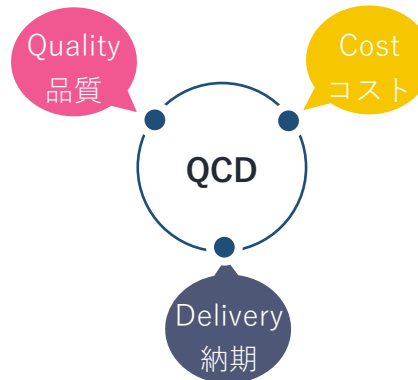
依頼者側と開発側では、持っている経験や知識、考え方やプロセスが異なることで、完成後に「**思っていたものと違った**…」というようなトラブルが起こることがあります。

プロトタイプを作り、早い段階でイメージを共有・本稼働に近いシステムを操作することで「**やりたいこと**」が明確になります。



メンバー間のイメージ統一

早い段階で完成品に近いイメージを共有・操作できるため、PJメンバー間の認識齟齬を防止



QCDの向上

要求段階で操作ができるため細かな仕様が決定しやすく、要求漏れなどによるスケジュール変更を防止



リスク回避

プロトタイプでビジネス検証が可能のため、早期にサービス判定を行うことが可能

プロトタイプを作ることによって解消できること



01 経営層からオペレーターまで 早期の認識すり合わせが可能に

システム開発の失敗の原因の多くは、要件定義工程にあります。
その多くが、システムに理解がある人だと理解ができるドキュメン
トも、経営層やシステムオペレーターには伝わらないことも。
早く動くものを見せることで、要件定義にスピード感が出てきます。

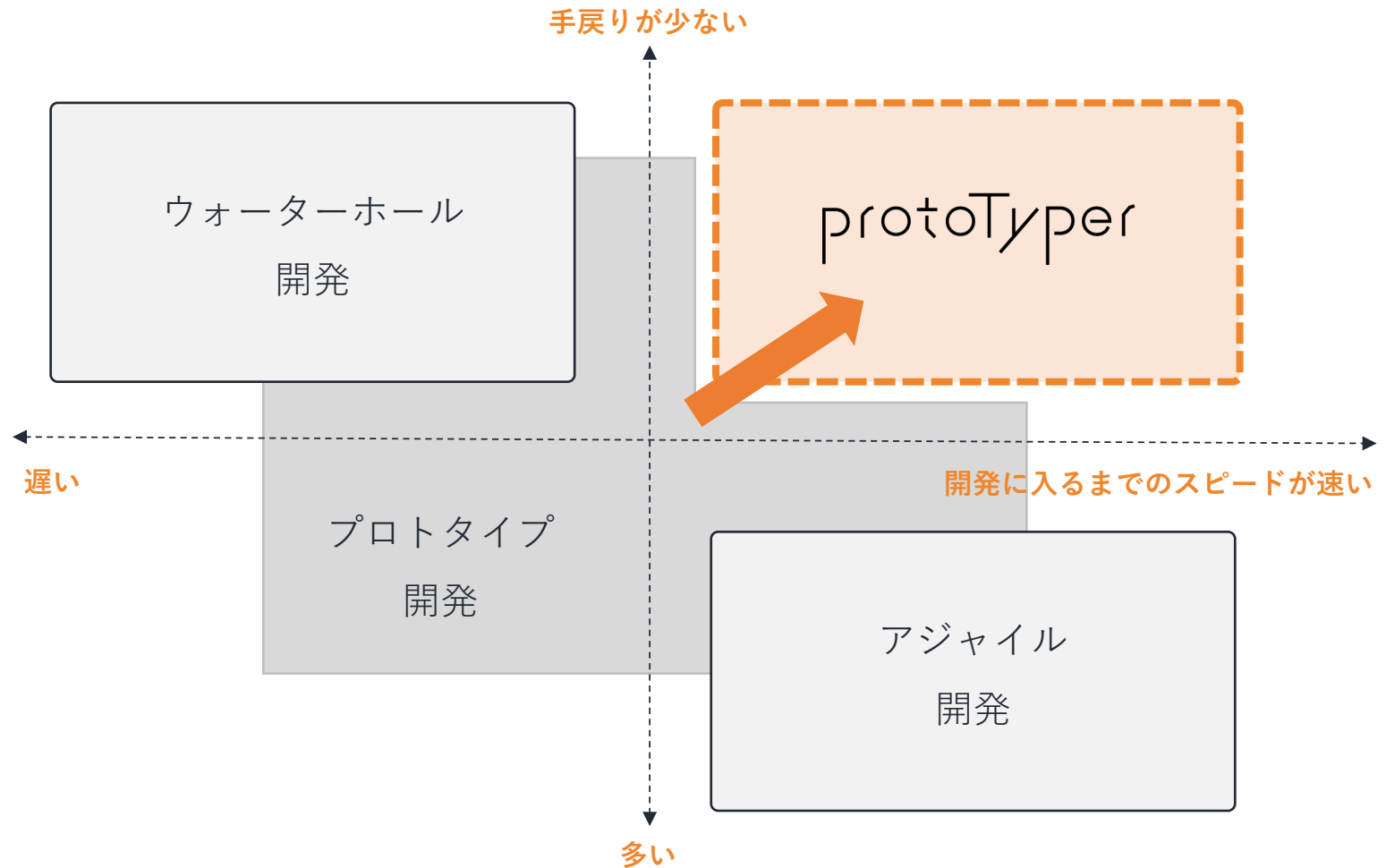
02 ビジネスの検証時間に

プロトタイプを活用したユーザー検証を行うことでビジネスモデル
を事前に最小コストで検証を行うことが可能です。

03 新プロダクトの予算獲得に

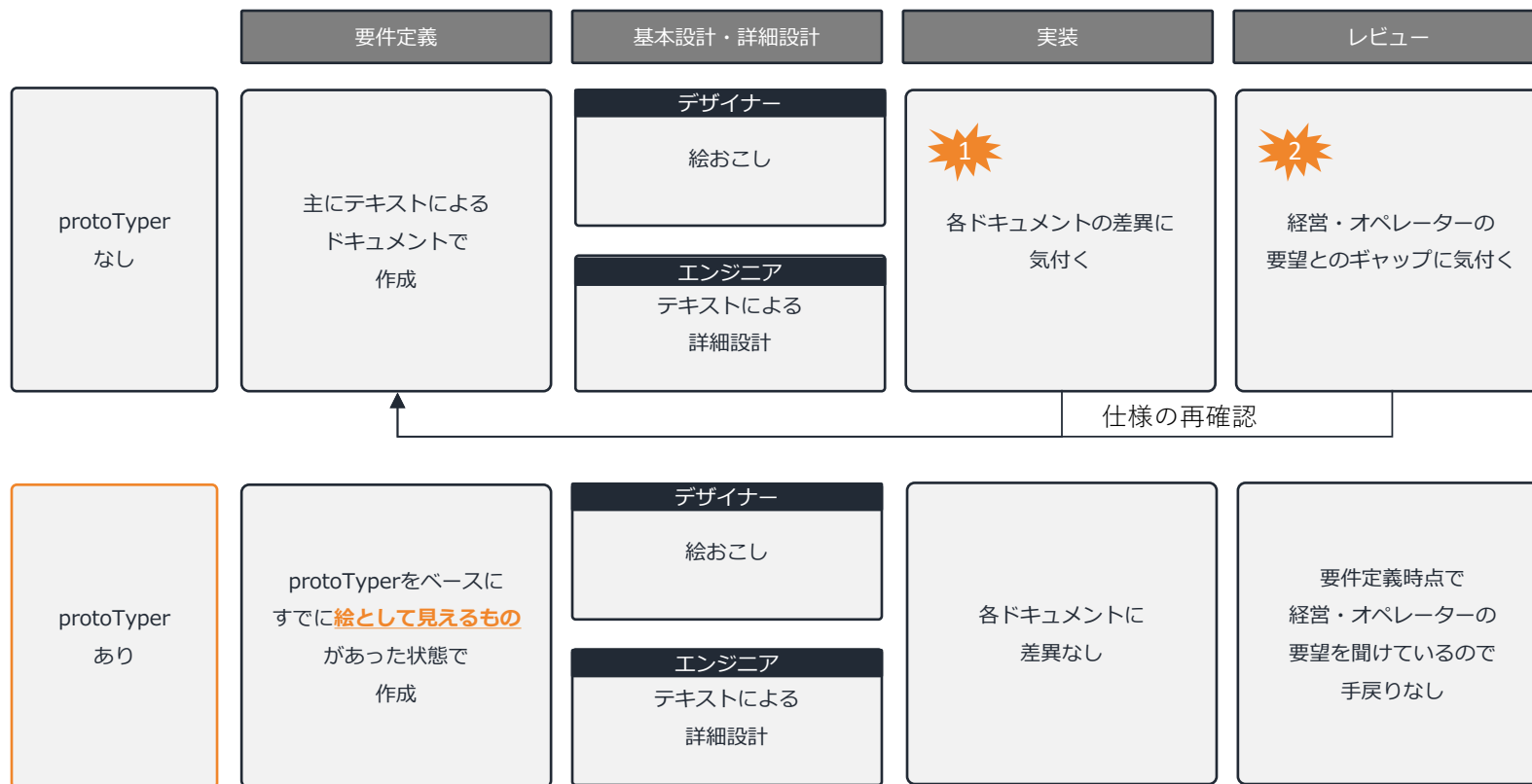
経営層へのプレゼンにプロトタイプを活用することで「やりたいこ
と」「やるべきこと」が明確に伝わり、予算獲得に貢献します。

既存開発手法とprotoTyper



protoTyperは導入することで、プロトタイプ開発手法のスピードと確実性が飛躍的にアップする、今までにない開発手法です

protoTyperを使った開発 と 従来の開発との比較



要件定義フェーズ前から絵として見えるものがあることで、仕様が洗い出しやすく精度があがる

protoTyper のポイント

protoTyperは業務システム・Webサービス開発設計者のノウハウを凝縮して作られ、導入後の要件定義もフォローします。導入により、システム開発の「経験者・未経験者」問わず、システムの完成イメージを把握する事が可能となり、プロジェクト参加メンバー全員が共通認識を持つことで様々なメリットが生まれます。



protoTyper導入後の開発におけるメリット

protoTyperを使ったプロトタイプ開発を行うことで、その後の開発にも大きなメリットをもたらします。

豊富なメリット

Quality 品質

- ビジネス検証 : 事前検証することで、早期にビジネスの妥当性判断が可能
- 要件品質向上 : 要件・課題・スコープが明確化され要件品質が向上
- リスク軽減 : 要件品質が向上することで、プロジェクト破綻等のリスク軽減

Cost コスト

- 予算獲得 : 経営陣への提案時、必要予算を明確に提示することが可能
- 正確な見積 : 要件・スコープの明確化により正確な見積もりが可能

Delivery 納期

- 正確な計画 : 要件・スコープの明確化により正確なスケジュール立案が可能
- プロジェクト高速化 : メンバー間の認識齟齬がなくなるため高速化が可能
- 開発高速化 : 要件の明確化により、手戻工数削減 開発の高速化が可能

要件・課題の抽出

実働する環境を操作することで、本当に必要な機能・要件定義で検討すべき課題が見え、要件定義の質が向上。

漏れなくダブリなく^{ミーシー}MECEにプロジェクト進行が可能となります。

システム開発でよくある課題

要件 / 機能

- 機能性 : 多機能か、特定の機能があればよいか
- データ項目 : 必要なデータ項目・DB上のみ必要な項目等
- ロール : 必要な権限数・不要な権限精査等
- 画面 : 必要な画面数・ロールに紐づく表示項目等
- ビジネスプロセス : プロセス数・ロールに紐づくプロセス

予算 / 規模

- 開発規模 : 高くてもすべての要件を満たす必要があるか
- フェーズ対応 : 予算に乗じて、ミニマムリリースの実施等
- 開発モデル : パッケージorスクラッチorクラウド等の選定
- 成果物 : 成果物の定義・粒度

運行 / 移行

- メンテナンス性 : アップデートしていく必要があるか
- システム移行 : データ移行方法・移行スケジュール
- 情報 : システムを介して取得すべき情報
- 体制 : システム導入後の生産性・スタッフ数

protoTyperプラン

システム開発で使われるプロトタイプでは、ワイヤーフレームから、HTMLで構成されたモックアップ、アクセスを使用した疑似DBで構成されたプロトタイプ、本稼働に近い形で本物のDBで構成されたプロトタイプ等、様々なバリエーションがあります。

「protoTyper」では、HTML版・DB版・クラウドプラス版の3つのプランをご用意しました。

ライトプラン - HTML版



HTMLで構成

紙芝居の用に画面を操作しながら確認することで表示内容確認・操作体験を提供

スタンダードプラン - DB版



DB（MySQL）で構成

データ登録・各種設定を可能とすることで、より本稼働に近い体験を提供

プレミアムプラン - クラウドプラス



DB版をクラウド環境で構築

スタンダードプランをクラウド環境（AWS）で構築する事で、開発工程の工数を削減

protoTyperプラン

		ライトプラン	スタンダードプラン	プレミアムプラン
 ユーザー体験	画面構成	○	○	○
	インタラクション	○	○	○
	画面遷移	○	○	○
 データ登録 ※1	ユーザー登録	-	○	○
	顧客登録	-	○	○
	製品情報登録	-	○	○
 各種設定 ※1	ロール設定	-	○	○
	ワークフロー設定	-	○	○
 情報・連携	データベース ※2	-	○	○
	クラウド環境 ※3	-		○

※1. クライアント企業様の特性に合わせ登録情報や設定項目は変動します

※2. DBはMySQLとさせていただきます

※3. クラウド環境はAWSとさせていただきます

サービス導入の流れ

protoTyper

要件定義開始

お見積

プロジェクト規模／
システム特性をヒアリ
ング。概算お見積を作
成。

ヒアリング

簡易要件をヒアリング
プロトタイプ導入に向
けた提案の実施

納品

作成したプロトタイプ
一式を納品

契約

見積もりに合意いただ
けた場合、契約を実施

作成

ヒアリングした情報を
もとにプロトタイプを
作成 ※1

要件定義

プロトタイプをもとに
本来の要件定義開始
※2 ※3

※1. クライアント様の確認を繰り返し作成（最短3週間）

※2. ご要望に応じ要件定義フェーズの支援を行わせて頂きます

プラン別導入費用（例）

	プロダクト性質／規模	プラン	プロトタイプ開発費	要件定義支援費
B to C	会員登録サイト	ライトプラン	50万～	月／80万～
		スタンダードプラン	140万～	
		プレミアムプラン	200万～	
S a a s	予約管理サイト	ライトプラン	100万～	月／100万～
		スタンダードプラン	240万～	
		プレミアムプラン	300万～	
業 務	業務システム・販売管理システム	ライトプラン	300万～	月／120万～
		スタンダードプラン	600万～	
		プレミアムプラン	800万～	

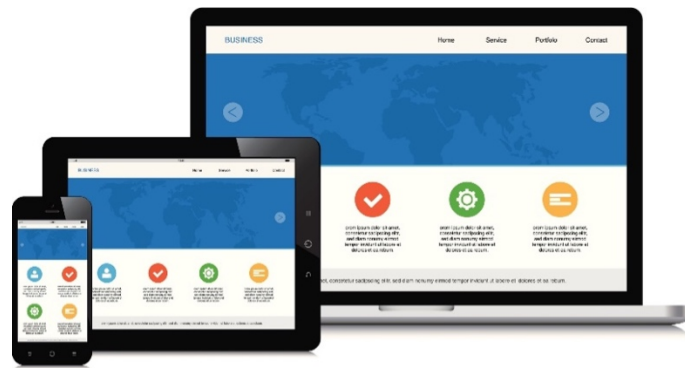


開発費用

予算やスケジュール、プロダクト性質に応じたプラン・要件定義要員をご提案します。

ライトプラン

HTMLで構成されたプロトタイプ。紙芝居の用に画面を操作しながら確認することで表示内容確認・操作体験を提供
プレゼンテーションやUX検証などのニーズにこたえます



UI・UX



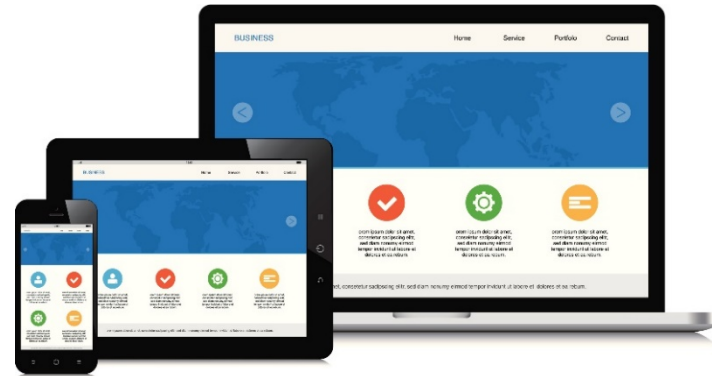
ユーザー体験

画面構成 / インタラクション / 画面遷移確認等

スタンダードプラン

MySQLで構成されたプロトタイプ

データ登録・各種設定を可能とすることで、より本稼働に近い体験を提供要件定義から開発へスムーズに移行したいなどのニーズにこたえます



多様な機能



ユーザー体験

- ・画面構成
- ・インタラクション
- ・画面遷移確認



データ登録 ※1

- ・ユーザー登録
- ・顧客登録
- ・製品情報登録



各種設定 ※1

- ・ロール設定
- ・ワークフロー設定
- ・その他



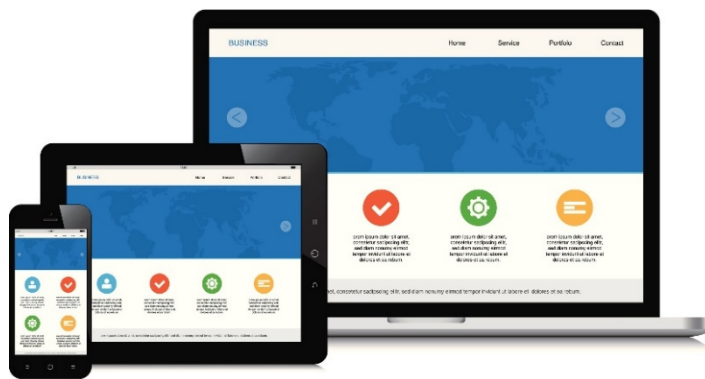
情報・連携

- ・DB (MySQL)

※1. クライアント企業様の特性に合わせ登録情報や設定項目は変動します

プレミアムプラン

スタンダードプランをクラウド環境（AWS）で構築されたプロトタイプ。クラウド環境をそのまま提供
クラウド環境でサービス開発をしたい、開発工程にかかる工数を抑えたい等のニーズにこたえます



多様な機能



ユーザー体験

- ・画面構成
- ・インタラクション
- ・画面遷移確認



データ登録 ※1

- ・ユーザー登録
- ・顧客登録
- ・製品情報登録



各種設定 ※1

- ・ロール設定
- ・ワークフロー設定
- ・その他



情報・連携

- ・DB（MySQL）
- ・クラウド環境（AWS）

※1. クライアント企業様の特性に合わせ登録情報や設定項目は変動します

経営と開発をつなげ、 プロジェクトを成功に導く

protoTyper

protoTyperは株式会社Ce LinkとGood Things合同会社の共同サービスです

Ce Link Good Things

お問い合わせ

TEL : 03-4405-2424

Email : prototyper@good-things.jp

<https://good-things.jp/prototyper>